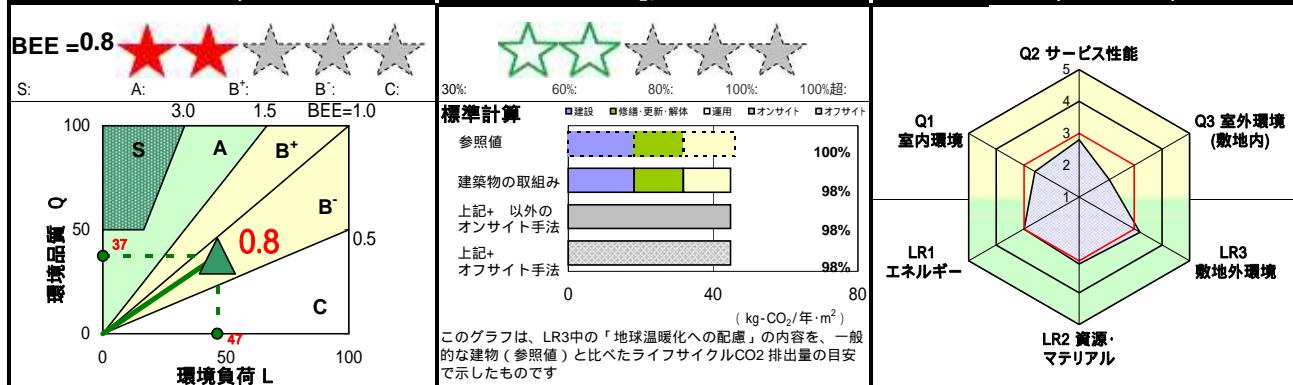


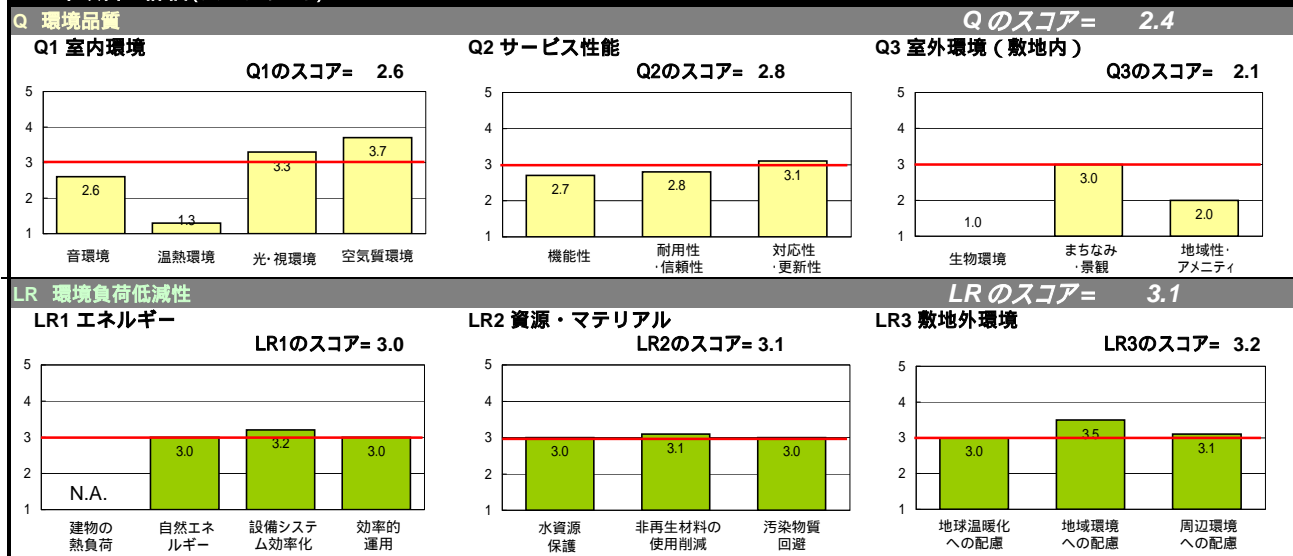
| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-------------------------|--------|------------|
| 建物名称 | 協同組合SIP座間イフニティ 職工研 工場 | 階数 | 地上2F |
| 建設地 | 神奈川県座間市栗原字中丸882番1外 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 市街化調整区域、防火指定なし、建基法22条地域 | 平均居住人員 | 37 人 |
| 気候区分 | | 年間使用時間 | 2,152 時間/年 |
| 建物用途 | 工場 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2013年11月 予定 | 評価の実施日 | 2012年10月1日 |
| 敷地面積 | 3,658 m ² | 作成者 | 株式会社 日創設計 |
| 建築面積 | 1,657 m ² | 確認日 | 2012年10月1日 |
| 延床面積 | 2,056 m ² | 確認者 | 株式会社 日創設計 |

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) 2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート) 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

| 総合 | その他 | |
|--|---------------------------------|-------------------------------------|
| 従業員への室内環境に配慮した。 省エネルギー・省資源に配慮した。 | 0 | |
| Q1 室内環境 一般的な室温を実現する為の設備容量の確保。 窓にブラインドボックス等を取付、外気温調整を配慮。 積極的に窓を設け、自然採光・通風を確保。 化学汚染物質の低減。 | Q2 サービス性能 空間のゆとりを配慮。 | Q3 室外環境(敷地内) 基準に準じた緑地を確保。 |
| LR1 エネルギー 省エネルギー機器の採用。 | LR2 資源・マテリアル 節水器具の採用。 | LR3 敷地外環境 基準に準じた緑地を確保。 |

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい